

週間感染症情報

2019年28週 2019年7月8日より2019年7月14日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	3
ムンプス(おたふくかぜ)	1
百日咳	
溶連菌感染症	15
手足口病	70
ヘルパンギーナ	13
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	27
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	1
突発性発疹	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	8
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
ヒトメタニューモウイルス	
インフルエンザ(臨床診断含む)	1
インフルエンザA	1
インフルエンザB	

7月14日は当番医でした。小児科36人、内科11人 計 47人でした。

高梁市、矢掛町、岡山市など、他市町村からの受診もありました。多くが当院は初めての受診でした。

高杉先生よりインフルエンザAの報告が1例ありました。岡山市のしらゆり保育園2歳、クラスに6名ほどいたそうです。

インフルエンザも季節性がなくなってきました。夏休みに入り、旅行、合宿、大会など感染の機会は増加します。

また、輸入感染症なども考慮して、旅行歴や周囲の感染情報などを問診することが大切です。

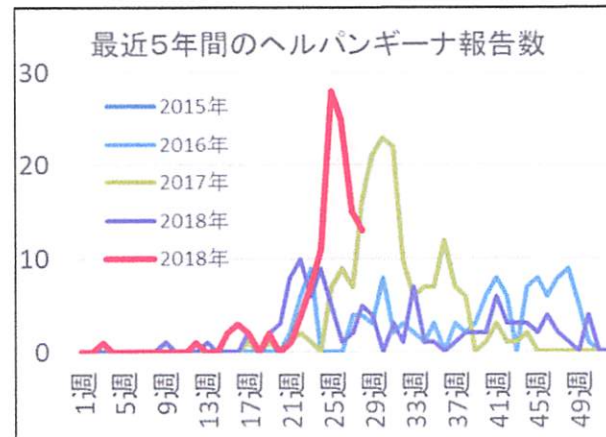
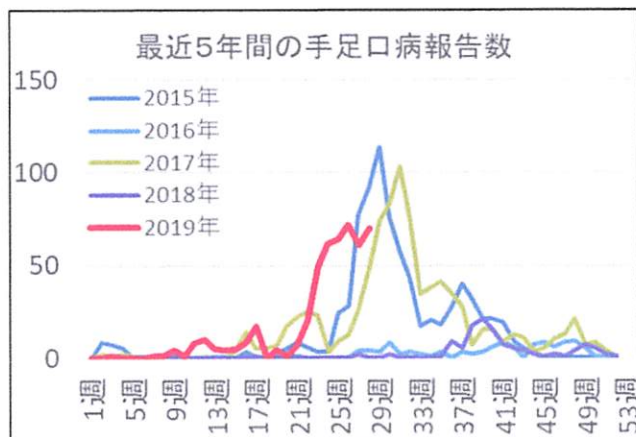
下のグラフの様に、手足口病・ヘルパンギーナは流行のピークは越えたようです。発熱が目立たない手足口病もあります。

別のウイルスが関与しているようで2回り患例もみかけます。

感染性胃腸炎は多くありません。病原性大腸菌06(ベロ毒素陰性)陽性が1例、カンピロバクター陽性が1例ありました。

夏休みになり、焼き肉やバーベキューなどの機会もふえます。肉はしっかり焼き、生肉に接触した箸と焼いた肉を食べる箸は別にしましょう。

伝染性膿痂疹が増えました。湿疹や虫刺されとの合併例が増えています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)